第56期 報告書
2009年4月1日～2010年3月31日
角川グループホールディングス
http://www.kadokawa-hd.co.jp/

KADOKAWA通信

VOL. 22
2010夏号

iPadの登場でメガソフトウェアパブリッシャーが実現する

取締役会長
角川 歴彦
TSUGUHIKO KADOKAWA

ネット書店アマゾンのキンドルに続くアップル社のiPadの登場で、角川グループは何を考えているのか、どう対応するのか、リスクなのかチャンスとして捉えているのか、最近よく質問を受けます。株主の皆さまも関心は高いと思います。全国の大型書店36法人の代表権者が参加するトップセミナーで私は拙書『クラウド時代とクール革命』の販売の協力に感謝しつつ、次のような自分の所見を述べました。

インターネットと合体した電子書籍の登場で世界の出版界は大きく変わる。当然ながら日本の出版業界にも大きな変化が起きる。しかし角川グループは全国津々浦々まである小売書店を活用した対策を模索する。活字離れしがちな読者を書店に誘引する。本好きな人を大事にしつつ、ライトユーザーを育成する。新古書店対策にする。

iPadの技術的長所を充分に生かしつつ、新端末への好意的な社会の反響を角川グループの業績に生かす。この意味で私たちは、iPadをトリガーに超強気な電子書籍戦略をたてます。

経済産業省の統計では日本のコンテンツマーケットは総体で14兆円の市場を持っています。その内、電子書籍の対象となる書籍、雑誌そして新聞の活字市場はなんと6兆円という大きさです。1.8兆円に過ぎない音楽マーケットでさえiPodであれだけ大きなイノベーションを起したのですから、電子書籍の活字市場への衝撃をはかりかねている業界人がほとんどというのも当然です。

しかし、私は多様なコンテンツとそのアーカイブを持つ角川グループにとって、これは飛躍への大きなチャンスだととみに感じることが多くなりました。常日頃、出版と映画のメディアミックスを標榜してきた角川グループにとって一台の端末で実現する技術革新とネットワーク時代の到来は創業期から培ってきたビジネス手法が極めて適切だったという確信です。

しかし、ここで問題として立ちはだかるのが電子書籍のビジネスモデルは何かという難題です。販売してたちまち100万台を突破したアメリカでさえ収益モデルを明確に示した話は伝わってきません。実はこのビジネスモデルこそが電子書籍のテーマのキモであると感じています。

21世紀の大きな特徴はコンテンツが主役の時代になったことです。かつてはハードとコンテンツは車の両輪だとよくいわれました。しかしアップルの成功はプラットフォームを構築することが強者の条件であることを示しました。そのプラットフォームに勝れたソフトウェアを準備することでアップルは勝者となったのです。

私たちの選択は三つあります。

(1) コンテンツプロバイダーとして、その創造力を強化。
(2) プラットフォーマーとしてユーザーに認知される。
(3) 端末を発売する。

それぞれが実は大きなビジネスチャンスであり、全てが充分に検討の値にかなうものです。

中経出版の新加入により、角川の出版グループは角川書店を始め10社になりました。当期の好決算はオンリーワンを目指す各社がよく自らの編集力を磨き小説にマンガに実用書にヒットを飛ばしたことで実現しました。これは出版分野のM&Aが成功したことを実証しています。魔法のiらんどはモバイルから生まれたCGMが書籍となって当社に収益をもたらしつつ地方の書店の活性化に貢献しています。

今後も角川グループはジャンルを超えた唯一にして日本最大のメガソフトウェアパブリッシャーとなるべく努力してまいります。

さらに角川グループは当社のコンテンツの強みを生かした独自のプラットフォームになるべく新たな領域に進出します。この課題に挑戦することが電子書籍の革新的なビジネスモデルの構築に大きな力になると考えています。NTTとの提携によるNTTプライム・スクウェアの設立は、この魅力的な挑戦の延長にあります。

光ファイバーの普及の先頭に立つNTTとの協業は必ず当グループの大きな飛躍につながるとともに、電子書籍時代を自らのものにする強力な力となります。角川グループでの経営戦略は株主の皆さまのご期待にかなうものと信じております。

最後になりましたが、株主の皆さまのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

CONTENTS

● 会長メッセージ
● 社長メッセージ
● 大賞受賞作品
● 2010年3月期概要
● 財務ハイライト
● この夏の注目コンテンツ
● 最新トピックス
● プレゼントのお知らせ

角川グループの事業戦略について

代表取締役社長
佐藤 辰男
TATSUO SATO

2010年3月期通期決算は、厳しい事業環境のなか売上高1,359億円（前期比57億円減）と減収となったものの、営業利益52億円（前期比16億円増）、当期純利益14億円（前期は52億円の赤字）でともに増益となりました。

出版事業においては、好調だった前期をさらに上回り、増収増益となりましたが、映像事業、クロスメディア事業は売上高を落としました。しかし広告市況の厳しいなか、収益力強化の構造改革をすすめた結果、クロスメディア事業では黒字回復を実現することができました。

現在、当社をとりまく事業環境は、キンドルやiPadなどの電子端末が話題となっております。コンテンツの大バンドル時代の到来において、継続して成長できるような施策を掲げ、角川グループの取り組みも加速させていかなければなりません。

事業面では角川グループの強みを再度検証し、事業を再構築していきます。ライトノベル、コミック、アニメで優位性を保つ角川グループのコアコンピタンスをグループ全体に広げていくようにしてまいります。

出版の海外展開も重要なテーマです。本年は中国に合弁会社を設立し本格的出版事業を開始いたします。

また、新たな事業領域として、これまでのキャラクターゲームに加え、オリジナルゲームとソーシャルアプリを含めたデジタルエンタテイメントの領域を開拓してまいります。

一方、財務管理面では、国際会計基準のIFRS導入義務化に向けて、率先して導入に向けた準備を進めてまいります。さらに、連結納税制度の導入も検討し、グループ全体の財務マネージメントを抜本的に強化していきたいと考えています。

株主の皆さまには、今後ともご理解とご支援を賜わりますよう、よろしくお願いします。

2010年本屋大賞を「天地明察」が受賞の快挙!!

★2010年本屋大賞受賞作品★ 38万部

「本屋大賞」のトロフィーを手に、受賞の喜びと支えてくださった方々に感謝の意を述べる冲方丁（うぶかたとう）先生

「天地明察」 冲方丁 著

2010年本屋大賞に「天地明察」冲方丁著（角川書店）が選ばれました。本屋大賞は、全国書店員が選んだ「いちばん！売りたい本」を投票によって選ぶ賞です。これまでの大賞受賞作品はすべてメディアミックスされている注目度の高い賞です。「天地明察」は吉川英治文学新人賞に続いての受賞です。

マンガ大賞2010を「テルマエ・ロマエ」が受賞!!

★マンガ大賞2010受賞作品★ 60万部

海外在住のためビデオ通話を通して受賞式に参加されるヤマザキマリ先生とガッツポーズをとるコミックビーム編集長

「テルマエ・ロマエ」
ヤマザキマリ 著

マンガ大賞2010に「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ著（エンターブレイン）が選ばれました。マンガ大賞は、書店員を中心とした選考委員により「今一番フレッシュなマンガ」を投票で決める賞です。また、第14回手塚治虫文化賞の短編賞も受賞しました。

2010年3月期概要

2010年3月期のヒット作としては、映画公開にあわせたキャンペーン展開が功を奏し、「天使と悪魔」がヒット。第1四半期だけで販売部数は100万部を超えました。また、人気ロックバンド“X JAPAN”のYOSHIKIの半生を描いた「YOSHIKI／佳樹」が話題となりました。

第2四半期には「角☆コミ」と銘打った夏のコミック祭を開催し、成功裏に終わりました。「エヴァンゲリヲン新劇場版：破」や「サマーウォーズ」の映画公開と連動し、コミック・小説など関連書籍の店頭展開を強化。販売を大きく伸ばすことができました。

第3四半期は角川映画渾身の超大作「沈まぬ太陽」を公開し、多くの話題を集めました。また、同作品は日本アカデミー賞において、作品賞をはじめ3部門で最優秀賞を受賞する栄誉を得ました。一方、10月スタートのテレビアニメ「生徒会の一存」「とある科学の超電磁砲」「そらのおとしもの」の原作本販売が好調に推移、角川グループが得意とするメディアミックス展開が大きく売上に貢献しています。

さらに、第4四半期もメディアミックス展開が好調で、1月スタートのテレビアニメ化作品、なかでも「デュララララ!!」は第4四半期だけでシリーズ累計100万部を超えるヒットとなりました。また同様にヒットした「バカとテストと召喚獣」は、mixiアプリを開発し、サービス開始直後から多くのユーザーを集めています。また海外文学では3月にダン・ブラウン著“ラングドン教授シリーズ第三弾”「ロスト・シンボル」が発売されました。

第1四半期

■映画公開に合わせて、原作本の「天使と悪魔」のキャンペーン展開が成功しました。

©CAPCOM CO., LTD.
2009 ALL RIGHTS RESERVED.

【TVアニメ】
- アスラクライン
- 涼宮ハルヒの憂鬱2期

【ヒット作品】
- 植物図鑑　著/有川浩　13万部
- YOSHIKI／佳樹　著/小松成美　22万部
- 天使と悪魔　著/ダン・ブラウン、訳/越前敏弥　シリーズ累計490万部
- ぼく、オタリーマン。④　著/よしたに　シリーズ累計125万部
- バイオハザード5　解体真書　シリーズ累計23万部

【トピックス】

●角川ゲームス設立

4月1日、角川ゲームスを設立しました。角川ゲームスは角川グループのゲームパブリッシャーとして流通を担うだけではなく、ゲームファン向けの本格的オリジナルゲームの開発や海外販路の開拓にも取り組みます。

●中経出版がグループ入り

4月7日、100％株式取得により、ビジネス書、実用書、語学書、学習参考書に強みを持つ中経出版が角川グループ入りしました。また子会社の新人物往来社は歴史関連に強く、これまで角川グループにないジャンルを強化することができました。

第2四半期

■角川書店が大型コミックフェア「角☆コミ」を開催しました。

【TVアニメ】
- 狼と香辛料2期

【ヒット作品】
- サマーウォーズ①　著/杉基イクラ、原作/細田守　シリーズ累計50万部
- 東方三月精③　著/比良坂真琴、原作/ZUN　シリーズ累計40万部
- 狼と香辛料XⅡ　著/支倉凍砂、イラスト/文倉 十　シリーズ累計350万部
- 差別と日本人　著/野中広務/辛淑玉　35万部
- “文学少女”と恋する挿話集2　著/野村美月、イラスト/竹岡美穂　シリーズ累計210万部

【トピックス】

●「ヤングエース」スタート

7月4日、少年エースの増刊としてヤング・アダルト世代をターゲットにスタートしました。「新世紀エヴァンゲリオン」「サマーウォーズ」「涼宮ハルヒちゃんの消失」など話題作品の連載により、好調な滑り出しとなりました。

●角川コミック祭2009夏

角川書店が自信を持っておススメする旬な話題作を集めた「角☆コミ」と題したコミックフェアを開催しました。人気キャラクターのアムロ、ハルヒ、シンジが一堂に会したオリジナルビジュアルイメージも作成し、コミックユーザー層をより拡大する企画を展開しました。

●角川文庫「発見。夏の100冊」

毎年夏恒例の角川文庫「発見。夏の100冊」フェアを開催しました。昨年に続き、角川文庫の年間キャラクターとして松山ケンイチさんをポスター等に起用しました。

第3四半期

■2009年を代表する大作映画「沈まぬ太陽」が公開されました。

©2009「沈まぬ太陽」製作委員会

【TVアニメ】
- アスラクライン2期
- 乃木坂春香の秘密2期
- とある科学の超電磁砲
- 生徒会の一存
- そらのおとしもの

【ヒット作品】
- 沈まぬ太陽　興収28億円
- さまよう刃　著/東野圭吾　150万部
- 生徒会の七光　著/葵せきな、イラスト/狗神煌　シリーズ累計400万部
- らき☆すた⑦　著/美水かがみ　シリーズ累計450万部
- よつばと！⑨　著/あずまきよひこ　シリーズ累計740万部
- とある魔術の禁書目録外伝 とある科学の超電磁砲④　作画/冬川基、原作/鎌池和馬、キャラクターデザイン/灰村キヨタカ　シリーズ累計245万部
- そらのおとしもの⑧　著/水無月すう　シリーズ累計150万部

【トピックス】

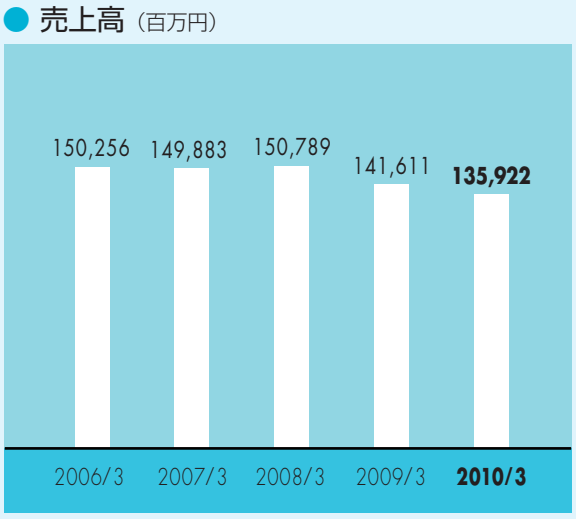
●角川コンテンツゲート

10月1日、角川モバイルとムービーゲートは映像・電子書籍等のデジタルコンテンツ配信事業基盤を整え、さらにグループ全体でコンテンツのマルチユース化促進を目指すために合併し、新たに角川コンテンツゲートを設立しました。

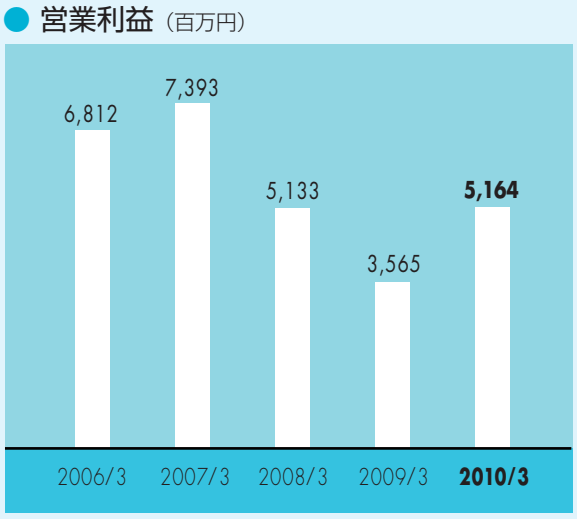
●角川映画・角川エンタテインメント合併

11月1日、角川映画とその子会社である角川エンタテインメントは映像事業のさらなる強化を目指すため合併しました。別々だったオフィスも統合し、より効率的、機能的な映像ビジネスの展開を図っています。

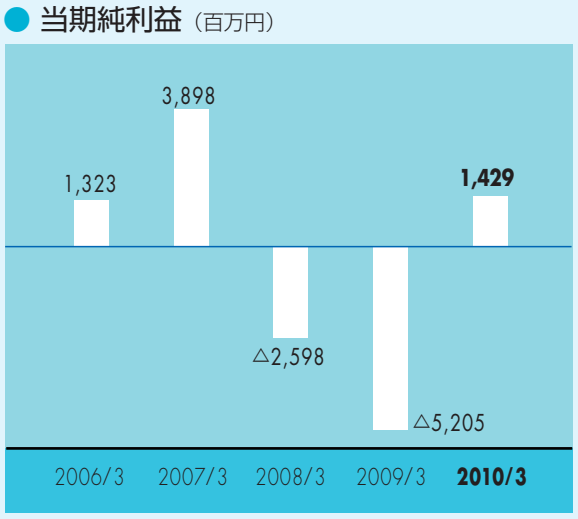
● 売上高（百万円）



● 営業利益（百万円）

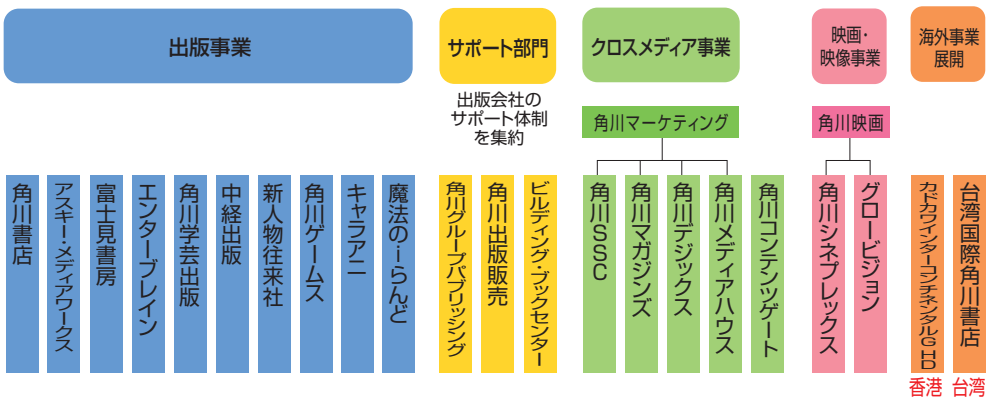


● 当期純利益（百万円）



■角川グループ組織図

（2010年6月26日現在）



■セグメント情報（要約）

※「IR・財務情報」等は下記ホームページにおいて閲覧できます。
http://www.kadokawa-hd.co.jp/

当期（自2009年4月1日　至2010年3月31日）　（単位：百万円）

	出版事業	映像事業	クロスメディア事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
(1) 外部顧客に対する売上高	73,476	30,803	23,032	8,611	135,922	－	135,922
(2) セグメント間の内部売上高	1,382	176	385	1,846	3,791	(3,791)	－
売上高計	74,858	30,979	23,417	10,458	139,714	(3,791)	135,922
営業利益又は営業損失(△)	7,703	△1,198	189	△207	6,488	(1,323)	5,164

●出版事業…書籍、ストーリー系雑誌、生活系雑誌、物流等
●映像事業…映画、DVDソフト等
●クロスメディア事業…情報系雑誌、ウェブサイト、デジタルコンテンツ制作等
●その他事業…ゲームソフト、広告代理店、不動産賃貸等

第4四半期

■TVアニメ化されたライトノベルやコミックの販売が好調でした。

©2010「人間失格」製作委員会

©2009 Nagaru Tanigawa・Noizi Ito/SOS団

【TVアニメ】
- ●れでぃ×ばと！
- ●デュララララ!!
- ●バカとテストと召喚獣
- ●おまもりひまり

【ヒット作品】
- ●ロスト・シンボル　著/ダン・ブラウン、訳/越前敏弥　上下巻計61万部
- ●使命と魂のリミット　著/東野圭吾　60万部
- ●バカとテストと召喚獣㉕　著/井上堅二、イラスト/葉賀ユイ　シリーズ累計330万部
- ●デュララララ!!⑦　著/成田良悟、イラスト/ヤスダスズヒト　シリーズ累計270万部
- ●とある魔術の禁書目録（インデックス）⑳　著/鎌池和馬、イラスト/灰村キヨタカ　シリーズ累計770万部
- ●人間失格　興収5.5億円
- ●涼宮ハルヒの消失　興収8億円
- ●機動戦士ガンダム THE ORIGIN⑳　著/安彦良和、原案/矢立肇/富野由悠季　シリーズ累計1,000万部
- ●新世紀エヴァンゲリオン⑫　著/貞本義行　原作/カラー/GAINAX　シリーズ累計2,000万部
- ●真月譚 月姫⑦⑧　著/佐々木少年、原作/TYPE-MOON/「真月譚 月姫」製作委員会　シリーズ累計300万部

【トピックス】

●東証企業行動表彰受賞

3月5日、東京証券取引所が主催する2009年度東証上場会社表彰において角川グループホールディングスが「企業行動表彰」を受賞しました。受賞理由は2008年度より当社が実施していた「株主総会議案の議決結果の公表」が、他の上場企業の企業行動に影響を与える新たな流れを作った先駆的な企業行動であるとの評価によるものです。

●日本アカデミー賞受賞

3月5日、第33回日本アカデミー賞の授賞式が行われ、角川映画製作の「沈まぬ太陽」が最優秀作品賞、最優秀主演男優賞、最優秀編集賞の3部門を受賞しました。

●3月4日、魔法のiらんど社がグループ入り

人気ケータイ小説サイトを運営する魔法のiらんど社が角川グループ入りをしました。ドラマ化、映画化もされた「恋空」をはじめ、4月よりNHKでテレビドラマ化された「激恋」など話題作を多数輩出しています。120万タイトルのケータイ小説、ユニークユーザー数600万人、月35億ページビューを誇る最大級の人気ケータイ小説サイトです。

●2月10日、NTTと角川のNTTプライム・スクウェア設立

新会社では、ユーザーが購入したコンテンツをサーバー上に保管し、PCや携帯電話、テレビなど各種端末から視聴できる「クラウド型コンテンツ配信サービス」を手がけていく予定です。

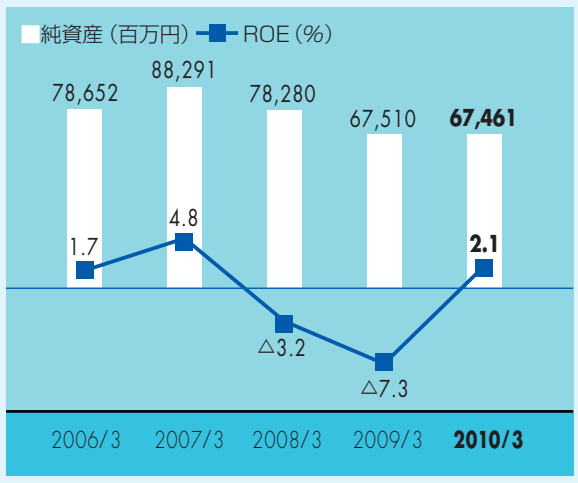
● 2010年3月期連結業績

売上高	135,922百万円
経常利益	5,375百万円
当期純利益	1,429百万円

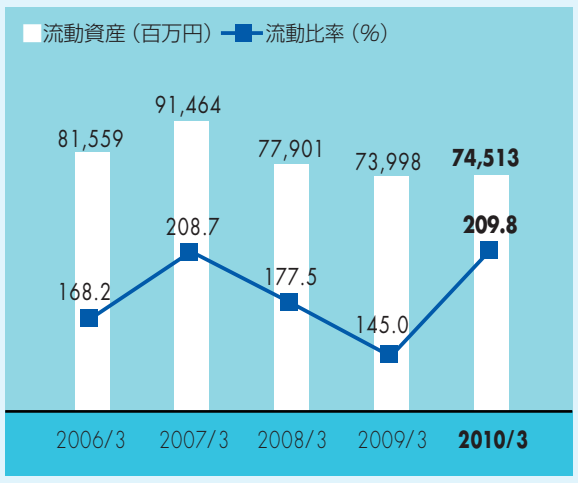
● 1株当たり情報

1株当たり当期純利益	56.68円
1株当たり配当金／配当性向	30.00円／52.9%
1株当たり純資産額	2,645.78円

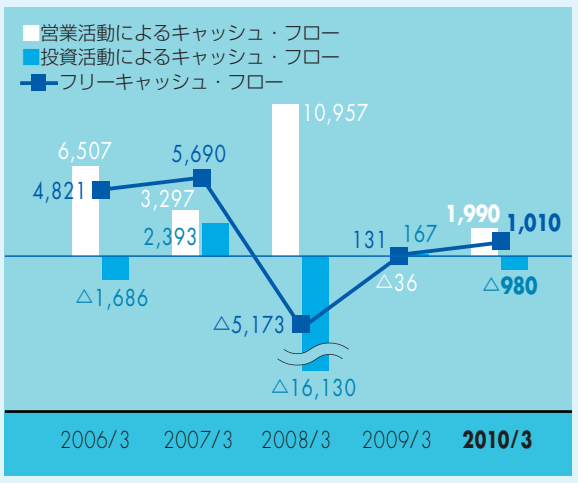
● 純資産／ROE



● 流動資産／流動比率



● キャッシュ・フロー（百万円）



この夏の注目コンテンツ

単行本

西巷説百物語　著/京極夏彦
グラウンドの空　著/あさのあつこ
キリン　著/山田悠介
新・青年社長　著/高杉良
トロイメライ　著/池上永一

文庫

夜明けの街で　著/東野圭吾
クジラの彼　著/有川浩
つくもがみ貸します　著/畠中恵
5年3組リョウタ組　著/石田衣良

TVシリーズ

伝説の勇者の伝説
オオカミさんと七人の仲間たち
ストライクウィッチーズ2期
美丘

ライトノベル

デュララララ!! ⑧
著/成田良悟、イラスト/ヤスダスズヒト
ソードアート・オンライン⑤
著/川原 礫、イラスト/abec
とある魔術の禁書目録(インデックス)㉑
著/鎌池和馬、イラスト/灰村キヨタカ
生徒会の八方
著/葵せきな、イラスト/狗神煌

コミック

俺の妹がこんなに可愛いわけがない②
とある魔術の禁書目録(インデックス)外伝
とある科学の超電磁砲(レールガン)⑤
乙嫁語り②
アマガミ Sincerely yours①
機動戦士ガンダム THE ORIGIN㉑
サマーウォーズ③

映画

ザ・ウォーカー
ロストクライム―閃光―
シュアリー・サムディ

DVD/BD

裏切りは僕の名前を知っているDVD
ストライクウィッチーズ1期 BD-BOX
そらのおとしもの⑦ DVD
人間失格 DVD/BD
ラブリーボーン DVD/BD

ゲーム

デュララララ!! 3way standoff
メタルマックス3

■最新トピックス

中国での本格的出版事業を開始

4月12日、中国出版社大手の湖南天聞動漫伝媒有限公司との合弁会社、広州天聞角川動漫伝媒有限を設立しました。角川グループの出版社から編集者を派遣し、現地作家によるオリジナルコミック作成、ライトノベルなどの翻訳出版、さらにはアニメ制作などを行い、大きな市場拡大が期待できる中国市場での出版事業を立ち上げていく予定です。

話題の電子書籍、iPadに積極的に対応

5月28日、日本でもiPadが発売となりテレビや新聞などでも電子書籍の話題が大きく取り上げられています。角川グループでは携帯電話での小説、コミック配信事業、昨年末スタートしたPSP向けコミック配信、iPhone向け電子雑誌「Tokyo Kawaii Magazine」など、デジタルコンテンツ販売を積極的に展開しています。さらにiPadや今後登場する電子書籍端末へのサービス提供に向けた準備を着々と進めています。

NTTプライム・スクウェアの新サービス「Fan＋」の紹介

5月12日、原宿クエストホールにてNTTプライム・スクウェア主催、クラウド型コンテンツ配信サービス「Fan＋」の発表会が開催されました。会場は、当初予定をはるかに上回る方々に来場いただき、立見が出るほどの盛況となりました。

角川会長と鵜浦 NTT 副社長の挨拶の後、NTTプライム・スクウェアの井上企画部長が、エクスペリアやiPhoneといった実機を使ってサービスを披露しました。

説明会後、会場に設けられた複数のブースに、実際に実機を使ってサービスや操作性を体感するコーナーを設け、お客さまにサービスを体験していただきました。

★プレゼントおよびアンケートのお知らせ★

【プレゼント】

今回の読者プレゼントは、本屋大賞受賞作品「天地明察」とマンガ大賞受賞作品「テルマエ・ロマエ」を抽選にて読者の皆さまにプレゼントいたします。ご希望の作品をどちらかおひとつご記入のうえ、KADOKAWA通信の感想や経営に関するご質問とともに、名前とご住所をご記入のうえご応募ください。抽選にてそれぞれ10名、合計20名の方々にプレゼントいたします。

あて先　〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
株式会社角川グループホールディングス
IR・広報室「プレゼント」係まで
2010年7月20日消印有効。

発表は発送をもって替えさせていただきます。なお、取得した個人情報は当選者の方に商品を発送するためだけに使用し、他の目的では使用いたしません。

A賞　本屋大賞受賞作品「天地明察」冲方丁 著　10名様

B賞　マンガ大賞受賞作品「テルマエ・ロマエ I」ヤマザキマリ 著　10名様

■会社役員

取締役会長	角川歴彦
代表取締役社長	佐藤辰男
常務取締役	井上伸一郎
取締役	福田全孝
	関谷幸一
	椎名保
	谷口常雄
	山口貴
	高山康明
	松原眞樹
社外取締役	清水英夫
	久夛良木健
	船津康次
常勤監査役	江川武
	水島真
社外監査役	池田靖
	渡邊顯

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
定時株主総会の基準日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.kadokawa-hd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 9477

いいかぶ　検索
Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 http://www.a2media.co.jp) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」　TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)　MAIL:info@e-kabunushi.com

角川グループホールディングスのホームページはIR・財務情報に加え、皆さまに角川グループの事業内容をより深くご理解いただけるよう、グループ各社の最新情報や話題、事業展開などを満載しております。ぜひご覧くださいますようお願い申し上げます。

http://www.kadokawa-hd.co.jp/

角川グループホールディングス
KADOKAWA GROUP HOLDINGS, INC.
株式会社　角川グループホールディングス
〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
電話03-3238-8411

PRINTED WITH SOY INK 地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています